

2022年12月17日(金)
【ふるさと応援事業】

森原康平 選手 (現 DeNA ベイスターズ・投手#68) ようこそ、神辺中学校へ。

■森原選手のことは

- (1) 夢は紙に書いておこう。目に見える場所にあると意識がかわります。
- (2) どんな時もプラス思考でいこう。
- (3) 本をしっかり読んでください。
- (4) 時間の使い方を考えよう。
- (5) 結果も大事だけど、準備力がとても大事です。
- (6) まわりの人を大切にしよう。



約5年ぶりに母校へ凱旋されました。

■森原選手から学んだこと(生徒感想より、一部抜粋、要約。)

・本を読んで、色々な知識を取り入れたり、目標は紙に書いてはってみたい。勉強は楽しいとなかなか思えなくてもモチベーションもなかなか上がらなかったり、やりたくなかったりする時のほうが多いけど、森原さんの言っていた、「一旦やめたときに後のことを考える」ということを聞いて、私だったら、今、勉強しなかったら、100%後悔するなと思った。だから、自分が後悔しないように、受験に向けて準備をしていきたいと思いました。

・野球も勉強も共通なことがわかりました。それは、コツコツすることです。6個の話の中でいちばん意識したのは、「何事にもプラスの考え」です。自分にはネガティブになることがたくさんあります。でも、これから1月にある受験もマイナスではなく、プラスの方向に変えようと思いました。

質問コーナーでは1・2年生も聞いて、交流できました。

・「夢をカタチにする」ために大切なことをたくさん学べました。やりたいこと、目指す先を明確にして自分自身を奮い立たせることは私もしたことがなかったし、自分で自分に言い聞かせる方法は素敵だと思いました。また、本を読むとか、時間管理をするなど、日常生活における小さな心がけが将来、自分の未来につながる、と改めて感じました。「周りの人を大切にする」ということ、自分と相手、また、その周りに穏やかで優しく、良い影響を与えたいと思いました。良い方向に進む、というふうにも言われていたし、本当にそうだと思います。



・話を聞いて、時間の使い方について考えさせられました。私は、時間の使い方がへたくそで、いつもギリギリで行動してしまう、悪いクセがあります。時間の使い方でも他の人と差がついてしまうと聞いて、後悔しないためにも今からがんばらないといけないと思いました。周りの人を応援しないと自分が応援されなくなってしまうので、だれからも応援されるような人になりたいです。

・特に心に残ったことは、「地道は近道」という言葉です。自分の夢を叶えるために、楽をして近道をするのではなく、コツコツと努力して叶えるということが近道である、ということを知りました。



ほっとルームの生徒直筆の「歓迎」横断幕の前で。

・僕が学んだことは、夢は実現できるということです。6つのことで特に心に残ったのは、「周りの人を大切にする」ということです。夢は本人がどれだけ努力を重ね、技術を身につけたとしても誰からも支援をして貰えないと実現することはできません。また、目標を掲げて自己暗示をかける事の大切さも知りました。僕も将来の夢を家中に貼りまくりたいと思います。

・私が心に残ったことは、「本を読むこと」が心に残りました。元から本が好きだから、本を読んでいた。本にはその作者のメッセージや体験を元にした教えなどが詰まっていると聞いて、そのような視点で読んだことはなかったけど、これから本を読むときは本に込められた作者の思いなども考えながら読もうと思いました。

・みんなの質問のときに、「行き詰まったときは少し休憩する、やりたいこと、受験で失敗したときのことを考えると、失敗したくないからもっとがんばるようにしている」というのを聞いて、これならすぐにできそうなので実際にやってみようと思いました。実際に夢を叶えている方が言われていたので説得力があるなと感じました。

・「地道が近道」という言葉を口にされていたので印象に残りました。1つ目の「夢や目標は紙に書いて壁にはる。」これは、家に帰ったらすぐに実践してみようと思います。脳が勘違いしてくれるとありがたいです。

・「時間はみんなに平等に与えられている」という言葉が心に残りました。人にはみんな向き不向きがあって、自分がどんなに努力してもかなわないものが多く、やっぱり才能には勝てないなと思っていました。だけど、誰にでも時間は無限ではなく、有限なのでやる気がなくなることも多いけど、後悔の残らないように工夫して時間を使っていきたいと思いました。

森原選手、ありがとうございました！
また、お越しく下さい。

福山市立神辺中学校